

令和元年度
法人本部事業報告

1 事業報告

- ※ 開催された理事会4回、理事協議会1回、評議員会2回、についてはいずれも成立しており、提案された議案についてはすべて承認されている。

- ※ 6月18日の第1回(定時)評議員会において、理事会から提案された全理事・全監事が選任(再任)された。

- ※ 6月18日の第2回理事会において理事長、業務執行理事が選任(再任)された。

- ※ 平成30年度現況報告、決算関係書類については、6月19日に福祉医療機構電子開示システムにより、秋田市監査指導室へ提出した。(以下のとおり)
 - ・ 現況報告書 ・ 計算書類 ・ 附属明細書
 - ・ 監事監査報告書 ・ 役員等名簿 ・ 事業報告書
 - ・ 事業計画書 ・ 定款 ・ 役員報酬規程

- ※ 平成30年度末の資産総額変登記及び理事長登記の手続きを7月26日に完了した。

- ※ 9月26日秋田市指導監査…秋田市施設指導室から2名、子ども育成課から1名来所して、令和元年度児童福祉施設等指導監査を実施した。結果については、指摘事項、助言事項はなかった。

- ※ 規程の改正
 - ・ 保育施設管理・運営規程
保育料無償化に伴い、副食費徴収に関する条文改正のため。…令和元年10月1日改正
平31施室第107号令和元年10月16日 規程改正承認

定員変更に係る条文の改正。…令和2年4月1日改正 平31施室第1720号令和2年2月4日
定員変更承認、平31施室第2288号令和元年4月17日規程改正(4月1日付)承認
 - ・ 延長保育及び一時的保育事業実施要綱
保育料無償化に伴い、別表一時預かり保育料金備考欄に給食費用300円を追加、理由…
給食費部分を明確にするため

- ※ 苦情解決第三者委員会について
令和2年5月15日苦情解決第三者委員会を開催、令和元年度苦情受付、解決処理状況及び保育事故状況について報告した。委員3名(鮎川義孝氏、伊藤たか子氏、柴田静寛氏)所長、松浦主任保育士が出席した。令和元年度は、苦情受付はなかったが、保育事故について意見を出し合った。

※ 休日保育事業について

令和3年度（もしくは2年度期中）からの実施の方向で、具体的な検討を進めていくこととした。

※ 新規事業及び法人発展計画の具体化に向けた準備

法人経営発展計画検討委員会を11月30日に開催し、「認知グループホーム事業計画案」修正1案から修正4案を12月12日の理事会（役員研修会）で報告した。修正4案について協議し、さらに最終案を作成して1月29日の理事協議会で協議した。計画としては承認されたが、今後について検討していくこととなった。

2 事業実施状況

月	日	事業等	内容	出席者
5	22	法人監事監査	平成30年度の法人、保育所の事業及び会計監査	監事 鮎川義孝 米谷恭一 三浦理事長 富野所長 松浦主任
5	29	第1回理事会	報告…現状及び業務執行状況について 議案第1号 30年度協和会事業報告 議案第2号 30年度保育所事業報告 議案第3号 30年度協和会収支決算報告 議案第4号 30年度保育所収支決算報告 議案第5号 法人監事監査報告 議案第6号 定時評議員会の招集について 議案第7号 評議員会へ提案の理事・監事選任(案)について その他	三浦理事長 三浦業務執行理事 理事 金釜計悦 佐藤洋一 大友昭男 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子
6	18	第1回(定時)評議員会	議案第1号 30年度協和会事業報告 議案第2号 30年度保育所事業報告 議案第3号 30年度協和会収支決算報告 議案第4号 30年度保育所収支決算報告 議案第5号 法人監事監査報告 議案第6号 理事・監事の選任について その他	評議員 安宅一男 伊藤秋美 安藤静夫 齊藤良子 片桐勝也 大友和憲 渡邊慶治 三浦理事長 三浦業務執行理事 理事 佐藤洋一 大友昭男 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子
6	18	第2回理事会	報告 評議員会の決議事項について 議案第1号 理事長互選について 議案第2号 業務執行理事の選任について その他	三浦理事長 三浦業務執行理事 理事 金釜計悦 佐藤洋一 大友昭男 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子

月	日	事業等	内容	出席者
9	2	第3回理事会	議案第1号 規程改正について ・ 保育施設・管理運営規程 ・ 延長保育及び一時的保育事業 実施要綱 その他 現状と業務執行状況について	三浦理事長 三浦業務執行理事 理事 金釜計悦 佐藤洋一 大友昭男 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子
12	12	第4回理事会	議案第1号 利用定員変更について その他 休日保育事業について 2年度入所児数の見込みについて 法人経営発展計画策定小委員会 報告（役員研修会を兼ねる）	三浦理事長 三浦業務執行理事 理事 金釜計悦 佐藤洋一 大友昭男 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子
1	29	理事協議会	協議案件 認知症高齢者グループホーム事 業計画案について	三浦理事長 三浦業務執行理事 理事 金釜計悦 大友昭男 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子
3	19	第5回理事会	報告 現状及び業務執行状況について 議案第1号 保育施設・管理運営規程の改正 (案) について 議案第2号 令和元年度社会福祉法人協和会第1 次収支補正予算(案)について	三浦理事長 理事 金釜計悦 大友昭男 柴田敏征

月	日	事業等	内容	出席者
3	19	第5回理事会	議案第3号 令和元年度はねかわ保育所第1次 収支補正予算（案）について 議案第4号 令和2年度社会福祉法人協和会事 業計画（案）について 議案第5号 令和2年度はねかわ保育所事業計 画（案）について 議案第6号 令和2年度社会福祉法人協和会収 支予算（案）について 議案第7号 令和2年度はねかわ保育所収支予 算（案）について その他	富野弥子 鮎川義孝 米谷恭一 松浦真紀子
3	25	第2回評議員会	報告 現状及び業務執行状況について 議案第1号 令和元年度社会福祉法人協和会第1 次収支補正予算（案）について 議案第2号 令和元年度はねかわ保育所第1次 収支補正予算（案）について 議案第3号 令和2年度社会福祉法人協和会事 業計画（案）について 議案第4号 令和2年度はねかわ保育所事業計 画（案）について 議案第5号 令和2年度社会福祉法人協和会収 支予算（案）について 議案第6号 令和2年度はねかわ保育所収支予 算（案）について その他	評議員 安宅一男 安藤静夫 伊藤秋美 伊藤兼治 大友和憲 斉藤良子 渡邊慶治 理事 柴田敏征 富野弥子 監事 鮎川義孝 米谷恭一 事務局 松浦真紀子

3 役員研修状況

月	日	研修名、主催者	内容等	参加者
11	14	平成31年度 社会福祉法人監事研修	・社会福祉法人を取り 巻く情勢の変化と取り 残されないための施策 ・監事監査の進め方	監事 米谷恭一
12	12	法人役員研修会	・「認知症グループ ホーム事業計画案」に ついての協議	理事7名 監事2名 松浦主任

4 理事・監事・評議員出席状況

【理事】

	第1回 理事会	第2回 理事会	第3回 理事会	第4回 理事会	理事 協議会	第5回 理事会	第1回 評議員	第2回 評議員
三浦正樹	○	○	○	○	○	○	○	
金釜計悦	○	○	○	○	○	○		
佐藤洋一	○	○	○	○		○	○	
大友昭男	○	○	○	○	○	○	○	
柴田敏征	○	○	○	○	○	○	○	○
三浦三男	○	○	○	○	○		○	
富野弥子	○	○	○	○	○	○	○	○

【監事】

	第1回 理事会	第2回 理事会	第3回 理事会	第4回 理事会	理事 協議会	第5回 理事会	第1回 評議員会	第2回 評議員会
鮎川義孝		○	○	○	○	○	○	○
米谷恭一	○	○	○	○	○	○	○	○

【評議員】

	第1回 評議員会	第2回 評議員会
安宅一男	○	○
安藤静夫	○	○
伊藤秋美	○	○
伊藤兼治		○

	第1回 評議員会	第2回 評議員会
片桐勝也	○	
大友和憲	○	○
斉藤良子	○	○
渡邊慶治	○	○

令和元年度 はねかわ保育所
年間事業活動報告書

【保 育 総 括】

基本方針

地域の豊かな自然や人々の温かいまなざしの中で、保育者一人ひとりが『温かく、柔らかく、ゆったりと』を合言葉に子どもたち同士がそのつながりのなかで学びあい、将来にわたり生きる力を育むことができるよう、次のことを大切にします。

- 一人ひとりの子どもの心、思いに丁寧寄り添います。
- 家庭や地域社会と連携し、共に子どもの育ちを支えます。
- 地域の自然や伝統文化を保育に取り入れ、様々な体験を通して豊かな感性と健全な心身の発達を支えます。
- 友だちとの遊びや生活を通じて、自分のことだけでなく友だちや命の大切さを伝えます。

保育目標 育ってほしい子どもの姿

- 明るく元気に遊ぶ健やかな子ども
- 思いやりのある子ども
- 相手の思いに気づき、自分の思いを表現できる子ども
- 生活習慣を身につけ健康に過ごす子ども

令和元年度は前年度に引き続き上記の基本方針・保育目標を念頭に保育を実施し、秋田市へ報告すべき重大な事故もなく1年間を終えることができた。

(1) 全体として

4月在籍児39名でスタートし、途中入退所を経て3月には在籍児が44名となった。

退所児童は9月末3歳児1名（母親の育児休業延長のため）、12月末5歳児1名（母の里帰りのため）の2名であるが、5歳児は帰国後の2月に再入所となった。

途中入所児童は6月に5歳児1名（再入所）、8月途中に0歳児1名、11月途中に0歳児1名、1月に1歳児1名、2月途中に0歳児1名、5歳児1名（再入所）名の計7名（実6名）であった。

年間を通じての保育認定については、2月途中入所児2名が短時間認定（入所理由：求職活動のため）であった。他園児は標準時間認定であった。

職員の状況は、保育士1名が1月に出産、育児休業取得後、9月から職場復帰した。また1名は3月に出産後、育児休業を取得中（令和2年4月から職場復帰）である。

元年度に入り、新たに保育士1名が1月から、産休、育休取得に入り、11月に職場復帰の予定である。尚、この保育士は4歳児クラス担当であったため、1月からは、副主任保育士がクラスを担当している。

パート職員として勤務してきた保育士が就労条件について折り合いがつかず年度末で退職となった。ほかの職員（常勤職員14名、パート職員2名）については、令和2年度も引き続き勤務している。

(2) 保育実践

基本方針にもあるように、地域の豊かな自然や人々の温かいまなざしの中で、保育者一人一人が「あたたかく、やわらかく、ゆったりと」を合い言葉に、子どもたち同士がそのつながりのなかで学び合い、将来にわたり生きる力を育むということを大切にされた保育を実践してきた。

子どもたちは、はねかわ保育所で下浜の豊かな自然に親しみ、のびのびと遊び、生活していくことで、心も体も成長することができた。

5月、大津市において発生した保育中（散歩中）の痛ましい事故を受けて、保育所からの散歩コース（～旧園舎跡地、神社方面及び学校、駅方面の2ルート）の点検を実施した。改めて歩いてみると安全な幅の歩道がない、歩道はあるが交通量が多い国道は危険が多かったため、コースとして、陽光台方面や小学校の体育館脇を通るルートとした。職員会議で散歩の必要性、安全性について再確認している。

また、6月には「保育所付近で熊の目撃情報」を羽川町内会から連絡を受け、園舎内外を確認したが、被害はなかった。保護者には「緊急メール」を発信し、玄関に張り紙で情報を伝えた。倉庫、ゴミ置き場等の施錠の確認、外回りの草刈り等を実施した。その後熊情報はなかった。

安全を確保した上で全クラス天気の良い日は外遊びが中心となった。地区内の散歩では、自然の恵みを四季折々に体感し地域の方とのふれあいもたくさん経験できた。広い園庭での土手山探検、固定遊具での遊び、ままごと、鬼ごっこ等存分に楽しんだ。乳児クラスは外遊びや散歩をたくさん経験し、足取りもしっかりし歩行も安定してきた。幼児クラスも外遊びを存分に楽しむことで、心も体も逞しく育っている。

幼児クラスは合同で過ごすことも多くあり、5歳児の遊びを真似する年下児や、面倒をみようとする5歳児の姿もあった。年上児、年下児との日常的なかかわりの中で相手のことを思いやり、それを自分なりに相手に伝えようとする子どもの姿があった。

乳児クラスは、2歳児は途中入所児はいなかったが0、1歳児は途中入所があった。その都度話し合い、子どもたちが安心して過ごすことができるように努めた。その中で0、1歳児、1、2歳児と一緒に過ごすこともあった。小さいながらも、玩具の貸し借りをし、小さい子を思いやる姿もみられている。

少人数の幼児クラス、乳児クラスと一緒に過ごすこともあった。幼児クラスは乳児クラスをかわいがる微笑ましい姿も多々見られた。乳児クラスの園児が幼児クラスになったときに優しく関わってくれるのを期待していきたい。

5歳児は友だちとの遊びやトラブルの中で、保育者が仲立ちをすることもあるが子どもたち同士で解決する場面を持つようにした。「先生、解決したよ」と報告し、またあそび始めていた。子どもたちの様子をみながらの対応である。そのため、子どもたちの様子を丁寧にみていくようにした。

各年齢に合わせた生活習慣を身につけ、健康に過ごす子どもを育てるために家庭や保育所での様々な情報を交換しながら日々の生活の健康と安全を守るよう努めることができた。

4、5歳児が羽川剣ばやしに、5歳児が民舞・荒馬に取り組み、発表の場も与えてもらい子どもたちの自信へとつながった。小さい子どもたちも太鼓をたたく真似をしたり、かけ声をかけあったり実際に見学することもあり、自分もやってみたいという気持ちも育ってきている。

子どもたちと一緒に畑やプランターで野菜を育てた。それは野菜の生長を間近に見て育てることで、食べることに意欲を持たせたいという思いだった。実際に実りに喜び、栽培した野菜を丸かじりすることで食べたいという思いが強まる園児もいた。全てではないが計画していたクッキングを実施することはできなかった。今後の課題としていきたい。

1) 行事の取り組みについて（別表1を参照）

保護者の方、地域の方の協力を得てほぼ計画通り実施することができたものの、3月の行事については、新型コロナウイルスの影響で一部変更をせざるをえないものもあった。

- ・クリスマスローズ散歩～里の会の大友会長より、子どもたちにむけて花の話をして頂いた。
- ・春の防火パトロール～防火パトロールに先駆けて幼年消防クラブ結団式を下浜分団の方も参加して実施。その後、下浜消防分団の協力を得てパトロールを実施した。沿道には多くの住民の方々に出て頂いた。保育者向けに、消火器の使い方の指導を受けた。
- ・秋の防火パトロール～下浜消防分団の協力を得てパトロールを実施した。
下浜消防分団の方から保育者向けに、消火器の使い方の指導を受けた。
- ・わかばWalk～ 「つくしもり」の散歩。暑さのため、近くまで往復路線バスで移動した。全員元気に山頂まで登ることができ、新緑のつくし森を楽しむことができた。
- ・いちご狩り～卒園児の祖父母（羽川在住）からいちご狩りの誘いがあり、職員が出向いていちごを摘ませてもらい、すぐに給食で提供させてもらっている。
- ・世代間交流～5歳児が長浜公民館で長浜親睦会会員とゲームや歌をうたって交流した。
その後、長浜地域内を探検し、いつもと違う場所の散歩を楽しんだ。
(長浜親睦会)
- ・世代間交流～9月の地区敬老会（羽川地区・長浜地区）は日曜日に実施。4, 5歳児が参加している。また、八幡神社宵宮祭典は土曜日の夕方からの実施だが、羽川在住の5歳児が参加している。いずれも保護者に協力してもらっている。
(地区敬老会)
- ・羽川百踏会交流会～年9回実施。参加人数は少数であったが、子どもたちも会員の方も喜んで交流を楽しむことができた。
- ・世代間交流～羽川百踏会会員と餅つき会を実施した。おじいさんに一緒に杵を持ってもらい餅つきを体験、おばあさんたちに教えてもらいながら大福、きなこ、あんこ餅を作って一緒に会食を楽しんだ。また一緒に「下浜かるた」やブロックやトランプ等を共に楽しむことができた。
(羽川百踏会)
- ・世代間交流～幼児クラスの祖父母を対象に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対応として祖父母は不参加とし、保育者と幼児クラス『桃の節句・ひなもち作り』を実施した。
(祖父母参観デー)
- ・保護者会環境整備～午前6時から保護者11名、職員5名で園庭や周辺の草刈り、窓掃除、ホールの扇風機(高所)、テラスの簀の子の下の等、普段なかなかできないところを清掃することができた。また、運動会の前にも園庭の草刈りを実施してもらった。

- ・夏まつり～猛暑の中ではあったが保護者会と協力して実施した。地域の方、卒園児も参加し、懐かしい笑顔にも再会することができた。
- ・親子大運動会、おゆうぎ会～保護者、祖父母や多数の来賓が参加し、子どもたちの頑張る姿や成長した姿を共に喜び合うことができた。
- ・さつまいもパーティ～畑で収穫したさつまいもを園庭で焼き芋に、また、ストーブでさつまいもご飯を炊いて食べた。
- ・虫の音コンサート～恒例となった秋田吹奏楽団によるコンサートを実施した。羽川地区の広報誌に掲載してもらったことで地域の方の参加もあった。
- ・個人面談週間～5月の一週間を個人面談の週とし、都合の良い時間帯を聞き、クラス担任と保護者で概ね20分間、子どもの様子を話し合う機会を持った。
(全園児の保護者が参加)
- ・懇談会～年1回(全クラス)忙しい時間帯(平日17:30から概ね1時間程度)ではあったが多くの保護者の参加があった。
- ・保育参観週間～全クラスを対象に概ね、午後1時頃まで実施。給食も一緒に食べる保護者もいた。都合のつく時間帯としたことで朝の時間帯のみの参加者もいた。地域の方からいただいた「新米」できりたんぼ作り、きりたんぼ鍋作りを行った。
- ・卒園式～卒園児13名。新型コロナウイルスの影響もあり、卒園児、保護者、保育者で実施。来賓、在園児の参加については参加を控えてもらった。十分な空間を保つため、ホールをいっぱいを使って、椅子等を設置。時間短縮のため、羽川剣ばやし・荒馬伝達式は実施しなかった。(後日、園行事として実施した。)卒園式自体も、各記念品の贈呈を式後に行い時間短縮を図り、アルコール消毒、空気清浄機も用意し、窓を開け換気も行いながら実施した。
入学先は、下浜小9名、日新小1名、大住小1名、岩城小1名、付属小1名となっている。

2) 在籍状況について(別表2を参照)

4月、4名の入所児を迎え、39名でスタート、3月末には44名となった。年間平均充足率は81%であった。

3) 地区別在籍状況について(別表3を参照)

4月は下浜地区の子どもの割合が約56%、その他の地区の割合が44%、3月には下浜地区52%、他地区48%となっている。前年度以前は他地区の割合が高かったのだが、本年度は下浜地区の割合の方が高い。ここ2、3年、下浜地区以外からの途中入所児童が減少傾向にあるためと考えられる。4歳児に関しては下浜地区の園児がいない状況である。その他の地区としては、浜田、新屋、仁井田、牛島、広面(途中より岩城町)となっている。その他の地区の2名が3月末で自宅に近い保育園へ転園している。

4) 延長保育利用状況について(別表4を参照)

年間延111人の利用があった。延長保育時間は保育士や、友だちと一緒に絵本を見たり、折り紙をしったりしながら18:20以降は軽食をとってゆっくりと過ごしている。

利用については朝の段階での申し出がほとんどであるが、18時近くに電話で依頼が入ることもあった。連絡がない場合も多々あり、その都度、保護者には分かった段階で連絡して欲しい旨を伝えている。保護が迎えに来るまではしっかりと園児が安心して過ごせるようにした。

5) 一時保育利用状況について (別表5を参照)

年間延150人の利用があった。利用理由としては「入所前に保育所を経験させたい」「母親の里帰り出産のため」「育休延長に伴うため」などであった。利用の際は、事前に面接を実施して、子どもの健康状態や家庭状況を把握した。利用児は同年齢のクラスで友だちと一緒に安心して過ごせるように対応した。

母親の育休延長に伴って退所となった3歳児は、9月から3月まで利用した。令和2年4月から再入所となった。

4～5月の大型9連休に伴う一時保育の利用を秋田市全域に広げたが、在園児の利用のみにとどまった。3日間で延べ9名(3世帯)の利用があった。連休中に開園するのは初めてのことで、事前の保護者への呼びかけや職員体制等、様々な点に学ぶことが多かった。

6) 保育所開放事業(きらびか広場)について (別表6を参照)

年間延11人の利用があった。秋田市広報にお知らせ掲載の依頼、下浜地域内やウエスターにポスターを掲示して周知を図った。入所が決まっていた親子、「秋田市広報をみた」といって参加した親子もいた。

7) 保育事故状況について (別表7を参照)

年間の通院治療は6件であった。他の怪我等は消毒、カットバン、冷えピタ貼付の処置で済んでいる。

- ・目に砂が入り充血～5歳男児、散歩の帰り、目に砂が入り手でこすって充血。痛みを訴えることがなかったため保育者は気がつかなかった。ご飯を食べる前に気がつき、所長に報告し、目頭に出てきた砂を取り除いたが充血は直らなかった。経過観察後の報告をしっかりとすべきであった。夕方に通院し、洗浄、点眼薬で様子を見て一週間後に再通院した。異常はなく、完治している。
- ・顔面をひっかかれた～1歳男児、室内で3段ボックス越しに「いないいないばあ」をして遊んでいて、「ばあ」と顔を出した途端にひっかかれてしまう。保育者はみていたものの止めることができなかった。友だちと遊ぶのが楽しくて触りたくて、ひっかいてしまった。仲良く遊んでいるから大丈夫ではなく、しっかり目配り、気配りをすべきであった。皮膚科に通院したところ消毒、キズパワーパット貼付の処置をした。その後、傷も残らず完治している。
- ・唇から出血～1歳男児、保育室で遊んでいた時、5歳児の足につまずき転倒し、下においてあった車の玩具にぶつけてしまった。前日まで熱を上げていたことに加え、早起きして登所。いつもよりも足下がおぼつかない状態であったのに、保育者の注意が欠けていた。生活状況を把握した上で保育を行っていかなければならなかった。通院をし、消毒をしてテープを貼ってもらおうが気になるようですぐにはがれてしまった。完治している。
- ・肘内障～0歳女児、担任が早番のため引き継ぎをし、保育をしていた時に本児の行動を見て左手を使わずに下におろしていることに気づいた。迎えにきた母にその旨を伝え通院してもらった。早番の担任から引き継ぎ時、お昼寝後しばらく泣いていたことを確認すると泣くことはあったが、機嫌は悪くないとのことだった。自我が出てきた時期と重なり本児の変化に気づきにくかったと思う。言葉で伝えられない分、子どもの心身の発達段階を把握し、保育者が細やかに観察し、子どもの変化を保護者に丁寧に説明していくことが必要であった。肘内障は繰り返すケースが多いため、注意していかなければならない。完治している。

・ちいさなブロックを飲み込む～5歳男児、保育室で遊んでいる際に友だちがつなげたレゴブロックを外そうとしたときに飛んでしまい、近くにあった椅子にぶつかり男児の口に入り飲み込んでしまった。全く予測できない出来事であったが、保育者も子どもたちの様子を把握すると共に子どもたちにも危険があるということを伝えていくようにしたい。通院したが、医師からはレゴブロックも小さくて丸いため、2～3日後には便と一緒に出てくるということであった。その後、自宅で排便時にでたとの報告が母からあった。

・口から出血～5歳女児、寝そべっていた他児の上に乗っかり遊んでいたが、下にいた男児が立とうとした際に足が口元に当たり、出血。乳歯がぐらぐらしていたが、さらにぐらぐらしており止血はすぐにできたものの通院。子どもの行動を把握して遊ばせることが大切であった。この日は感染性胃腸炎が大流行していた日で職員も複数欠席しており、子ども係をする職員が少なかった。(消毒に回る保育者を確保するため)こういう日こそ、保育者をしっかりと配置しなければならなかった。通院したところ、抜歯をして終了となった。その後、本児も痛がらずに過ごすことができた。

・本年度から乳児クラス、幼児クラスに分け、事故状況の分析方法(要因、時間帯等)を変え集計している。

乳児クラスは、かみつきや転倒による擦過傷、友だちとのトラブルでのひっかき等、幼児クラスは友だちと衝突し打撲、遊具・備品による擦過傷や、切り傷等が多かった。事故発生時間についてはどうしても午前保育者が多い時間帯に怪我をする件数が多かった。これは、子どもがそろい活動が活発になる時間帯でもある。また、午後は、早番職員が退勤する時間、子どもの帰宅が多い時間帯での発生が多い。保育者は十分に注意しているが、予期できない怪我が発生してしまうケースも多かった。保育者が予想して行動したり、声をかけ合ったり環境を整えるようにしていかなければならない。

職員会議の際には、保育事故状況について確認しあった。(保育者が、書き留めておいた一覧表)環境を整えていき、子どもたちが元気に遊ぶことができるようにしたい。

8) 意見・要望等受付状況について(別表8を参照)

個別の文書や口頭による意見や要望の受付は特になかった。1月に保護者アンケートを実施した結果『熊出没に関する不安』『冬場の駐車場の暗さ』『朝の受け入れ時の職員の状況』『避難場所についての説明が欲しい』等の意見、要望が寄せられた。寄せられた意見や要望に対してはアンケート結果として記載し全世帯へ配付している。5月15日苦情解決第三者委員会を開催して、元年度意見・要望等受付状況および保育事故状況について報告した。委員からは、おこった事故に対して、その後の保育者の一人ひとりのとらえかたで、事故の発生を予測していくことができると個々の保育力がアップするのではないかと。苦情や意見については、苦情はないようだが保護者からの不満や疑問がある場合は、お互いの思い違いがあることが多いので、きちんと伝えることで理解をしてもらうことを確認し合った。

9) 与薬依頼状況について(別表9を参照)

年間を通じて保護者より依頼を受けて行っている。継続して使用する薬に関しては、1週間単位とし、週末には持ち帰ってもらうことを定着させることができた。

夏場の虫除けスプレーについては保育所で用意した物を使用した。使用に当たっては保護者から同意書が提出されている。

10) 感染症発生・罹患状況について(別表10を参照)

年間を通じて感染症に罹患する園児がいた場合は、感染状況を玄関先に掲示して保護者に知らせ、注意を呼びかけた。

インフルエンザAに12月、1月に罹患した園児が数名いたが、年末年始の休みと重なり園内での流行はしていない。保育者の罹患もなかった。感染症対策として、手洗い、うがいの徹底と保育室内の換気、消毒等をこまめに実施した。

予防接種についても保護者に対して接種を呼びかけ、注意を促している。また、職員については例年通り全員予防接種を受けている。

2月、職員を含め感染性胃腸炎が大流行した。金曜日に罹患が増え次々に早退する園児がいた。消毒もままならない状態であったため、次の日の土曜日に全館消毒をすることを一斉メールで知らせ、またお便りも配布することで、保護者へ協力を依頼し園児には可能な限り休んでもらった。2名の出席があった。

土曜日は1日かけて全館(保育室や玩具)を消毒することができた。その後、感染性胃腸炎を断ち切ることができた。5歳児クラス懇談会の時期を変更せざるを得なかったが後日実施することができた。

新型コロナウイルスの罹患者が秋田市で確認されたことで、秋田市からは日々、メールでの連絡が入った。ひなもち会、卒園式の形態を変えて行う等の対応をした。

1 1) 内科健診・歯科健診

6月12日、11月1日、嘱託医渡邊医師、平山医師による内科健診を実施した。全園児2回の健診を受けている。

6月13日、嘱託医西村歯科医師による歯科健診を実施した。全園児が健診を受けた。

健診の結果については、「健診結果のお知らせ」として全家庭へ配付した。内科健診ではとくに問題のある子どもはいなかった。

1 2) 障がい児保育実施状況について

2歳児、3歳児各1名が医療療育センターへ定期的に通院している。その際には、保護者の了解を得て、担当職員が同行することもあった。児童の現状理解、また保護者の心情へ寄り添う一助となっている。

保育士が子どもたちにどう関わっていくべきか、保護者とも連絡を密に取りながら保育をすすめている。2人共に成長はしているが、他機関に相談できるところまではいっていない。

1 3) 他機関との連携について

秋田市子ども未来センターからの依頼により、要観察世帯として2世帯3名(2歳児、4歳児の姉弟、4歳児)の園児、家庭の状況について、3ヶ月毎に文書で報告している。

1 4) 保育の質及び質の向上に向けた取り組み状況について(別表11を参照)

元年度は園内研修の実施は5回、各クラスがテーマを決めそれに添って実施した。それに対して保育者同士で意見を交換した。救急救命講習や不審者対応訓練も外部から講師を招いて実施することができた。

キャリアアップ研修の受講が多く、年間を通じた継続的な研修会が多かった。

1 5) 短時間保育について

- ・11月に0歳児が母親の就活のために入所。すぐに就職が決まったため、12月から標準時間となった。迎え児に数回、延長保育を利用した。

- ・2月に5歳児が母親の里帰り後に再入所した際に、短時間認定となった。登所の際は前延長保育を毎日利用した。(3月いっぱいまで)

- ・2月に0歳児が母親の求職活動のために入所。3月いっぱいまでの利用となった。一度だけ、後延長保育を利用した。

1 6) 広域入所について

- ・12月から5歳児が広域地区から母親の実家の岩城町に転居したため、由利本荘市と委託契約を結び対応した。

17) 保育料無償化に伴う副食費徴収について

9月に10月からの3歳以上児保育料無償化に伴う副食費徴収についての説明会を実施した。当日出席できなかった保護者には個別に説明を行った。保護者には理解を得て、対象世帯から「重要事項の説明に関する同意書」が提出された。

実喫食数を徴収するにあたり、可能な限り2週間前までに休む日を教えてもらいたいこと、当日欠席する場合は、8時30分までには連絡して欲しいことを伝えている。これは食材の発注や、主食の量の加減をするためではあるが、シフト制勤務の保護者もいて、まだ定着していないところがある。給食費の請求事務については、主任と給食担当者が、徴収事務については主任が担当している。

【クラス状況】

(こうさぎ組・0歳児)

4月当初は1名だったが、1年を通して5名に増えた。その都度生活のリズム、流れが変化したが、一人ひとりの甘えや欲求を優しく受け止め、安心して過ごせるよう保育者間で話し合い協力しながら進めていくようにした。

手作り玩具を用意して触れ合い遊びの中で、保育者と一緒に楽しめたことで関わりを深めることや、身体の発達を促すきっかけを作ることができた。手作り楽器はおゆうぎ会に繋げることができ、歌に合わせて鳴らすことを楽しむ姿が見られた。その後も様々な歌や手遊び、絵本を楽しめるようになり、保育者とのやりとりにも繋げられた。高月齢児は友だちにも興味が出てきて、声をかけたり、玩具を取り合ったり、一緒に同じ遊びをしてみたりと、関わる姿が見られるようになり、保育者が仲立ちしていくことで関わりを楽しめるようにした。

個々の成長や発達に合わせ、安全な環境を作り、存分に身体を動かせるよう活動を分ける等工夫し、危険や無理のないよう見守りながら援助していくようにした。それぞれのペースで成長していく姿が見られ、体力もつき、活発にあそぶ姿に嬉しく思った。

人数が増えていくにつれ、遊びが固定されてしまったり、活動の時間の調整が上手くできなかったりと配慮や工夫が足りないことも多くあった。また一人ひとりがどこで何をしているのか把握し、危険のないよう気を配る難しさを感じたが、職員同士声をかけ合い協力していくことで、充実させていけると思った。

(クラス担任 米山 晶子)

(うさぎ組・1歳児)

初めは、新しい環境の不安から泣いたり、落ち着いて過ごすことができずにいた子もいた。思いを受け止め、一人ひとりの甘えを満たしながら過ごすようにした。徐々に環境にも慣れ、安心して過ごすことができるようになっていった。

春や秋には、天候を見ながら散歩に出かけた。春はまだ手を繋いで歩くことが難しかったため、散歩車に乗っての散歩が主となったが、秋には保育者や年上児に手を繋いでもらいながら歩いて散歩へ行くことができるようになった。散歩先で小学校の子どもたちとの触れ合いを楽しんだり、道に咲いている花を手にとったり、目の前を走る電車に興奮したりと、様々な発見を楽しんでいた。

夏は水遊びやプール遊びを楽しんだ。始めて触れる子もいて、最初は怖がったり嫌がったりする姿もあった。無理なく誘いかけたり、少しずつ触れていけるよう環境を整えていけるようにした。少しずつ水や泥に触れることができるようになり、水の冷たさや感触を全身で楽しんでいた。

冬は雪が少なかったものの、雪が積もっている所を見つけては足で踏んでみたり、手で触ってみたりと、この時期ならではの遊びを楽しんでいた。

言葉がまだ十分に出ない分、たたいたりひっかいたりというトラブルが多かった。一人ひとりの思いを汲み取り、代弁をしていくことで、気持ちに寄り添っていくようにした。言葉で思いが伝えられるようになってきたのと同時に、少しずつトラブルも減ってきて、友だちとの関わりを楽しむことができるようになってきた。

(クラス担任 澤田 綾子)

(こあら組・2歳児)

4月当初はロッカーや靴棚の場所が変わったことで戸惑う姿があった。新しいマークを知らせることで覚えていき、進級したことを喜んで身の回りのことに取り組んでいた。自分たちでできることが増えていくことを喜んで、意欲的に生活していた。ホールや戸外での活動後には自ら気づいて着替えや手洗いうがいの仕方を知らせ、丁寧に行うことを習慣づけていきたい。

戸外での活動をととても喜んでいて、天気の良い日には積極的に散歩に出かけていった。秋には探検バックを持参することで自然物を集めながら歩いたり、様々なルートを通ることで探検気分を楽しむことができた。

運動会やおゆうぎ会で幼児クラスと一緒に活動したり、昨年度よりも様々な行事に参加したことで、年上児との関わりが増えていった。年上児の真似をして登り棒や鉄棒、土管に登ること等に挑戦している。子どもたちの意欲を大切に、安全に配慮しながら援助していった。

友だちと一緒にあそぶことを楽しめるよう、簡単なルールのある遊びを取り入れていった。繰り返しあそぶことでルールを覚えて友だち同士で誘い合ったり、応援し合ったり、喜び合うことも楽しむことができ、関わりが深まっていった。5名とクラス単独では少人数のため、来年度は幼児クラス合同チームでゲーム遊びやルールのある遊びを楽しんでいきたい。

ぬりえ、お絵描き、折り紙、紐通し、パズル等手指を使った遊びも取り入れてきた。食事中もスプーンやフォークの持ち方を子どもたちのほうから確認する姿がある。スプーンやフォーク、ペンや色鉛筆の持ち方を意識していくことで、箸への移行に繋げていきたい。

(クラス担任 本間 慶枝)

(とら組・3歳児)

一時保育利用の子どもが入るなど、後半は一時保育として共に過ごす子どももいたが、クラス全体としてはすぐに受け入れ関わり合う姿がみられた。月齢差や発達の差が大きく感じられることが多かったが、一人ひとりに合わせた対応や声かけを心がけていくことでそれぞれの成長を感じられることができた。

幼児クラスになり、生活の流れが変わったことや当番活動が始まったことで、初めのうちは戸惑ったり上手い出来ないこともあったが、繰り返し行い慣れてくると自信を持ったり、意欲的に行おうとする姿が見られた。行事についても積極的に参加したり、楽しむ姿が多く見られた。異年齢児との関わりも自然に多くなり、遊びを共有したり、リードしてもらって発表したり表現したりすることができるようになっていった。

友だちとの関わりの中で、気の合う友だちとじっくりと遊んだり、男児女児で分かれて過ごす様子が見られ、それぞれにあそびの輪ができていった。集団でのゲーム遊びやルールのある遊びは音楽に合わせ、勝負がつくものは盛り上がっていたが、興味の向かない遊びもあったため工夫していきたいと感じた。みんなで一つのものをつくるクッキングや栽培活動は仕方や道具の使い方を知らせると集中して取り組み、達成感を味わったり、みんなで喜んで食べたりする姿が見られた。

地域の方との触れ合いは、散歩の時や羽川百踏会との交流、様々な行事を通して少しずつ深まっている様子がある。回数を増やすことで親しみを持つ姿が見られている。

保育者側の様々な都合により、クラス単独で過ごす時間も少なかったが、他クラスと合同で過ごしている時もその中で子どもたちらしく変わらず過ごしたり、その場に対応した行動ができていた。家庭の背景により一人ひとりの日々の状況や気持ちが大きく変化した子どももいたが、受容する姿勢を大切に過ごしながら少しでも安心して過ごせるように保護者と連携していくことを密にしていた。専門機関から助言を受け、連携していくことでその子一人ひとりについて深く知ることができたため、しっかり生かしていきたい。

(クラス担任 落合 志穂)

(きりん組・4歳児)

4月当初、保育室が広がったことでどんなふうに遊んでいいのか戸惑う姿が見られたが、保育者が手作り玩具を作り遊びかけていくことで、少しずつ自分たちで遊びを見つけて遊べるようになった。また、クラス単独で過ごせるようになり自分たちのペースで過ごせるようになり、保育者も一人ひとりにじっくりと関わっていくことができた。

集団遊びはクラスだけではできなかったが、ぞう組と一緒に集団遊びをする機会を作り様々な遊びのルールを教えてもらい遊ぶことができた。後半は、とら組と活動することが多かったが、ぞう組から教えてもらったことをとら組に教えてあげるといった姿にもつながった。

キッズサッカー、羽川剣ばやしなどきりん組になって始めた活動も多く、見て懂れていた事もあり喜んで活動できていた。羽川剣ばやしの練習では、注意されると不安な表情を見せるが負けず嫌いな性格から芯の強さを発揮し、練習を繰り返す中で真剣な表情で聞き入れしっかり練習に取り組む姿が見られた。

基本的な生活習慣については、初めは甘えから一人で進んでやる姿は見られなかったが、じっくりと保育者が関わり促していくことで身の回りの事ができるようになってきた。まわりに流されてしまい中途半端に遊びなかなか進まないことも多くあったが、何か目的を示すことで意欲的に最後までできるようになった。

途中で担任が産休に入ったため担任が替わったが落ち着いて過ごしていた。とら組と合同で過ごすことが多くなりその中で、給食の時にとら組の子と隣に座る約束をするなど、一緒の空間で過ごすだけではない関係が広がってきた。

お店屋さんごっこは、2月になってから話し合いをしたり製作活動をしたり進めてきた。なかなか集中して製作活動することができないため、時間を決めて作業し保育者が中心となって完成させた。他のクラスの子どもたちに、「楽しかった」「またやってね」と言われたことで、更に喜びを感じられたようだった。

卒園式には参加できなかったが、お別れパーティーに向け、子どもたちが中心となり準備、進行ができたことは大きな自信につながったように思った。

(クラス担任 副主任 堀井志都子)

(ぞう組・5歳児)

年長児に進級したことを喜び、4月から始まる生活や行事に胸を弾ませている姿が見られた。ぞう組になって頑張りたいことを絵にしてもらい、期待を持って意欲的に過ごせるようにした。基本的な生活習慣が身に付いてくると、少しずつ見通しを持って過ごせるようになってきた。初めの頃は、「〇〇するの?」「〇〇してもいいの?」とその都度尋ねることが多かったが、「〇〇するね」「〇〇するんでしょ」という言葉に変わり、自ら行動し、子どもたち同士で教え合う姿が見られた。汗の始末や着替え等も自分で気づいて行えるように声かけしていった。時には個別に声をかけ、対応していくようにした。数字が分かり、読めるようになってきたことで時計を見て行動することができるようになってきた。片付けや食事の終わり、活動時間等も事前に伝えていくようにしたことで、楽しくあそぶ中でも時間を見て行動することを意識できるようにした。日々時計を見て行動する姿も見られるようになってきていた。

様々な遊びをしていく中で自分たちがルールや遊び方を考えて楽しむ姿が見られるようになってきた。トランプや鬼ごっこ等で自分が考えた遊びやルールを提案し、受け入れられると楽しくあそんでいた。遊びの楽しさを知るだけでなく、考える力にも繋がっていた。友だちとの関わりの中では、仲良くあそんでいる反面、トラブルになるとすぐに保育者に助けを求めにくる姿が初めは多かった。お互いの思いを受け止めながら仲立ちし、自分で考えられるような声かけをしていくことで、少しずつ自分たちで解決できるようにしていった。友だちとの関わりもより深まり、生活や遊びの中で少しずつ友だちの良さに気づき、素直に褒める等お互いを認め合えるようになってきた。個々が強く、まとまらないことも多かったが、協力することの大切さを知っていったことで行動する姿が増えていった。

様々な行事において、リーダーとして年下児をまとめ引っ張っていく機会が増え、一人ひとりが

思いやりの気持ちを持って関わるができるようになってきた。一つ一つの活動や行事にもはりきって取り組む姿があり、意欲を自信へと繋げていけるよう、褒めたり励ましたりしていくことを大切にした。また、年長児としての自覚、自信を持つことで様々なことに意欲的に取り組み、更に就学への期待へと持っていけるようにした。卒園が近くなると寂しさを感じながらも、就学に対して意識しながら生活しようとする姿が見られるようになってきていた。

(クラス担任 土田 瑠美)

(給食)

年間を通して、旬の食材を取り入れて提供した。また、残食を少なくするために、盛り付けや味付けを工夫した。また、おやつについても、手作りおやつを喜んで食する姿が見られた。

離乳食 …開始の頃は月齢より遅れていて、家庭との連絡を密にして進めていった。その過程では、いろいろな問題もあったが保護者と細かに話し合い、月例相応の食事形態とすることができた。

アレルギー対応児童 4名…卵アレルギー3名、乳、卵アレルギー1名 誤食もなく全員完全除去食で対応した。

一年間、異物混入もなく安全安心の給食の提供をすることができた。

(調理員 田口 眞希子)

【総務総括】

1) 職員状況

元年度職員(常勤職員 12名)の年休取得状況は1人当たり平均取得日数 14日(最少5日3時間、最多34日7時間) 平均取得率は50.4%であった。

年度途中に2名の職員の妊娠が判明した。定期妊婦健診は欠かさず受けて1名は無事出産に至っている。1名は半年間、1名は1年間育児休業を取得の予定となっている。また、子の看護休暇についても対象職員は取得して子どもの看護に充てている。

時間外勤務については1か月平均 24.6時間、年間職員1人当たりの平均時間は26時間であった。時間外勤務の主な理由は行事関連によるものが多かった。前年度と比較すると、行事等(週休)の勤務の場合、振替休日として処理したこともあり、一人当たり約6時間程度減少している。

3月にコロナウイルス対策として小学校が休校になったことから、職員が年休取得して子どもの養育にあたった。勤務シフトの変更等大変な面もあったが他職員の理解、協力もあって対応することができた。

元年度は2名の職員が「無期雇用転換ルール」の申し出をし、受理された。一段と責任を感じ、張り切って職務に励んでいる。後輩職員には良い刺激となっているようである。

2) 施設設備保守管理状況

元年度はウィンドウズ10対策としてデスクトップパソコン1台を更新した。

修繕関係は園庭大型遊具の補修を実施した。また園庭の松木の立ち枯れが目立ち、伐採処理している。また、調理室の換気扇の洗浄を業者へ委託して実施した。

3) 運営状況

入所児童の充足率は年間平均81%で定員に達することはなかった。予算作成時に見込んだ入所児数には及ばなかったため、人件費積立金を取り崩して対応した。

別表11 【保育及び保育の質の向上に向けた取り組み状況】

月 日	研修名	テーマ／内容	参加者
5月28日	園内研修	テーマを下にクラス毎に発表(幼児クラス)	在勤保育者
7月5日	園内研修	テーマを下にクラス毎に発表(乳児クラス)	在勤保育者
8月1日	園内研修	テーマを下にクラス毎に発表(幼児クラス)	在勤保育者
8月20日	日赤講習	・幼児安全法 子どもの心肺蘇生法とAEDの使い方	在勤保育者
11月15日	不審者対応訓練	不審者対応について(秋田中央警察署員による研修会)	在勤保育者

月日	研修名／主催者名	内容等	参加者
4月13日	秋田市地区総会 ／秋田地区保育士 会	演題;鈴木翼のあそび歌講習会	松浦主任 明平保育士
4月18日	園長等管理運営協 議会／秋田県	・カリキュラムマネジメントの適切な実施に向けて ・県幼保推進課指導班からの説明	富野所長
4月19日	新規採用者研修 ／幼保推進課	講義;秋田県が大切にする乳幼児の教育・保育～改定された3法令 を踏まえて～ ;社会人・教育者・保育者としての心構え	佐々木保育士
4月21日	県保育士会総会 ／秋田県保育士会	テーマ;子どものサインをどう受け取るか ～子どもの心と保育士に必要なコミュニケーション	土田保育士 足利副主任
5月14日	教頭・主任等研修会 ／幼保推進課	講義;特別な配慮を必要とする子どもの保育環境と指導法 ～交流及び共同学習の推進を見据えて～	落合保育士
5月14日	学校運営協議会	下浜中・小授業参観 学校からの趣旨説明等	富野所長
5月15日	新規採用者研修 ／幼保推進課	講話;乳幼児理解に基づく環境の構成と保育者の援助 講義;指導計画の意義と週・日案の作成 講義・実技;子どもの発達に応じた遊び	佐々木保育士
6月4 ～5日	秋田県保育研究大 会 県保協	・基調報告・シンポジウム 分科会;「配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて」 ・記念講演	落合保育士
6月5 ～6日	ワード研修 ／職業訓練校	・ワードの基礎について	堀井副主任
6月12日	5年経験者研修 ／幼保推進課	講話;5年経験者として～年次別経験者到達目標による自己評価 講義・演習;カウンセリングの技法を生かした乳幼児・保護者との関 わり	足利保育士
7月11日	保育カウンセリング セミナー／秋田市	講演・演習;保育カウンセリング理論と技法	堀井副主任
7月11日	新規採用者研修 ／幼保推進課	講義・実技;子どもの主体的な活動と環境の構成 講義・演習;プロジェクトアドベンチャー 講義;健康;「健康・安全を守る保育者の役割」	佐々木保育士

7月22日	幼児教育保育の無償化に関する事業者説明会	・保育料無償化制度(一時預かり、副食費、確認申請)について	富野所長
8月2日	就学前教育理解推進研修/秋田県	講演;幼児理解に基づいた評価の在り方 グループ協議;中心テーマにかかる協議	土田保育士
8月8日	キッズステップノート説明会/秋田市	講話;『気になる子』への対応 ～園や家庭で大切にしたい関わり～	足利保育士
8月21日	秋田市子どもを守る地域ネット研修会/秋田市	講演;「子ども虐待対応における関係機関との協議について」	富野所長
8月21日	5年経験者研修 ／幼保推進課	講義;園内研修の理解と推進について 演習;5年経験者として～年次別到達目標による事故評価～ 講義・演習;子どもの主体的な活動を支える環境の構成と保育者の援助	足利保育士
9月6日	主任保育士研修会 ／秋田県保育士会	・保育でつむぐ子どもと親のいい関係	松浦主任
9月12日	主任部会研修会 ／秋田市保育士会	・気になるこどもへの対応	松浦主任 堀井副主任
9月25日	新規採用者研修 ／幼保推進課	・追分保育園参観 ・「環境の構成や保育者の関わり」	佐々木保育士
10月16日	働き方改革関連法セミナー	・働き方改革のポイント	富野所長
10月16日	保育の質を高める研修会 ／県保協	・赤ちゃんの発達とアタッチメント	落合保育士
10月18日	園医の会/秋田市医師会	・気になる子を持つ保護者への対応	富野所長 松浦主任
11月5日	保育所(園)長研修会 ／県保育協議会	演題;「のびやかな育ちを支える～0, 1, 2歳児の保育の現場から～」	松浦主任
11月7日	教頭・主任等研修会 ／幼保推進課	講演;「保護者の視点から就学前教育・保育と保育者に期待すること～」 ;「こころのに寄り添う支援を」	落合保育士
11月19日	5年経験者研修 ／幼保推進課	講義;「乳幼児に大切にしたいこと～主体性を育む『遊び』と保育者の援助」 講義・演習;「特別な配慮を必要とする子どもの理解と教育・保育」 講義・演習;「5年経験者として～次のキャリアステージに向けて」	高森保育士
11月20日	新規採用者研修 ／幼保推進課	講義;「カウンセリングマインドを生かした乳幼児・保護者との関わり」 講演・演習;「豊かな心を育む絵本の読み聞かせ」	佐々木保育士
11月29日	西部地区幼保小連絡協議会/秋田市	・授業参観 ・情報交換 ・グループ協議	富野所長 土田保育士
12月14日	絵本教材キャラバン ／こどものとも	絵本が生まれるまで～編集者の視点から わたしの絵本づくり	富野所長 田口調理員

別表1【保育等行事実践状況】

月日	実施行事名	内 容	参加者/団体
4月1日	年度始めの式／進級式	各クラス毎に氏名点呼を行い、出席ブックを渡す。新クラスをスタートする	全園児
4月8日	安全教室	避難訓練、安全指導に関することをわかりやすく園児に伝える	幼児クラス
4月11日	幼年消防クラブ結団式 春の防火パトロール	下浜消防分団の協力の下実施。 消防分団の指導の下、保育者が初期消火を実施	下浜分団 所長 幼児クラス 担当保育者
4月16日	クリスマスローズ散歩	つくし森山麓に咲いている花の観賞に出かける。また、クリスマスローズの会の大友さんより、花について園児向けに話してもらう	幼児クラス
4月23日	お話の会	明德館ボランティアの会の方が来所。大型絵本、素話、布絵芝居、エプロンシアターを見せてもらう。	幼児クラス ボランティア3名
5月9日	サッカー教室	秋田県サッカー協会のコーチと共に体を動かしたり、サッカー競技を楽しむ	4、5歳児 コーチ1名
5月10日	はねかわ剣ばやし始 まりの会	4、5歳児がはねかわ剣ばやしの取り組みをスタートさせる	4、5歳児
5月15日	わかばWalk	新緑の中、つくし森山麓を幼児クラスで山登りを楽しむ	幼児クラス
5月20 ～30日	個人面談週間	全クラスの保護者を対象に個人面談を実施した。限られた時間ではあったが、保護者の方とじっくり話す機会を持てた。	保護者39名 担当保育者
5月21日	羽川百踏会交流会	会員の方とホールでゲームをして楽しんでいる。	会員3名 幼児クラス 担当保育者
6月7日	園外保育 (バス遠足)	鳥海木のおもちゃ美術館で木の玩具に触れ元気に遊んでいる お昼は手作り弁当とおやつをみんなで食べている	幼児クラス 引率7名
6月10日	交通安全教室	交通安全指導員の方から話を聞いたり、ゲームを楽しむ中で交通安全について知る	幼児クラス 指導員
6月12日	内科健診	嘱託医渡邊医師(中通病院)による健診を実施 保護者に健診結果を知らせ、治療が必要な場合は促していく	園児 中通病院 渡邊先生
6月13日	歯科健診	嘱託医西村医師(もとまち歯科医院)による園児の口腔内健診を実施 また、保護者に健診結果を知らせ、治療が必要な場合は促していく	園児 元町歯科医院 西村先生
6月13日	サッカー教室	秋田県サッカー協会のコーチと共に体を動かしたり、サッカー競技を楽しむ	4、5歳児 コーチ1名
6月18日	じゃぶじゃぶWalk (羽川百踏会交流会)	百踏会会員の方と一緒に貝殻や石を拾ったり、砂浜を歩いて楽しんだ。	幼児クラス 引率7名 会員2名
6月26日	世代間交流会	5歳児が長浜親睦会の方と一緒にゲームを楽しみながら、交流を図る その後、長浜地区を散歩している	5歳児 引率3名
7月4日	サッカー教室	秋田県サッカー協会のコーチと共に体を動かしたり、サッカー競技を楽しむ	4、5歳児 コーチ1名
7月4日	西中生来所 (総合学習)	卒園児2名を含む西中生6名が来所。 子どもたちと一緒にあそんだり、保育者にインタビューをして保育士という仕事に興味を持つ機会となったようだった。	西中生6名 保育者
7月5日	七夕会	七夕行事を保育者と共に楽しむ(短冊は保護者に記入してもい、園児は笹の葉に七夕飾りを行っている)	幼児クラス

7月13日	保護者会環境整備	保育所内外の清掃。草刈りなどを保護者、保育者で協力して実施	保護者11名 保育者5名
7月17日	プール開き	テラスに幼児用プール、乳児用プールをだし本日よりプール遊びを楽しむ	全園児
7月17～ 18 日	お泊まり保育	5歳児が親元を離れ岩城少年の家に1泊した仲間や保育者と力を合わせて、様々なことに挑戦していく	5歳児 引率3名
7月25日	羽川百踏会交流会	保育室でブロックやパズルをしてあそんだ	幼児クラス 会員2名
7月27日	夏まつり	縁日広場、屋台コーナーを設けこどもたち、保育者によるはねかわ剣ばやしの披露、保護者による[赤ずきんちゃん]のスタンプを楽しんだ 卒園児にも招待状して、卒園以来の再会を楽しむ姿も見られた	全園児 保護者 地域の方 来賓
7月29日	消防査察 避難消火訓練 花火教室	火災訓練を新屋分署立ち会いの下実施 保育者は消防署への通報訓練と初期消火訓練を実施 その後、幼児クラスを対象に花火の使い方の指導を受け、実際に体験する	新屋分署3名 全園児
8月22日	合同クッキング (カレーライス)	畑で収穫した野菜を使って、幼児クラス毎にカレーライスを作ってみんなで食べている	幼児クラス
9月1日	世代間交流 羽川地区敬老会	敬老会で羽川剣ばやし、歌の披露をしてお祝いした(羽川公民館)	5歳児10名 保護者 引率 4名
9月2日	荒馬始まりの会	5歳児が荒馬の取り組みをスタートさせる	全園児
9月8日	世代間交流 長浜地区敬老会	敬老会で羽川剣ばやし、歌の披露をしてお祝いした(長浜公民館)	4、5歳児7名 保護者 引率 3名
9月11日	サッカー教室	秋田県サッカー協会のコーチと共に体を動かしたり、サッカー競技を楽しむ	4、5歳児 コーチ1名
9月14日	羽川八幡神社祭典宵宮	羽川在住の5歳児が羽川公民館ではねかわ剣ばやしを披露する	5歳児8名 保護者 引率3名
9月19日	羽川百踏会交流会	大根の種まきを実施した	幼児クラス 会員1名
9月28日	保護者会草刈り	運動会前に園庭の草刈りを保護者の方の協力を得て実施する	保護者 保育者
10月4日	シルエット劇場	5歳児が文化会館にて[泣いた赤おに]の影絵鑑賞をした	5歳児 引率2名
10月5日	親子大運動会	親子で競技に参加したり、体を動かすことを楽しむ 園児の頑張りを保護者に見てもらおう 早朝の会場設営(雨天のため下浜小体育館で実施)も保護者会の協力を得て行った	全園児 保護者 来賓
10月17日	羽川百踏会交流会	ぞう組と一緒に寿司屋さんごっこをして楽しんだ	幼児クラス 会員1名
10月18日	ひらひらWalk	酒田街道を幼児クラス保育者と一緒に歩き、秋の自然を触れながら楽しむ	幼児クラス 担当保育者

10月21日	羽川百踏会交流会	さつまいも掘りをした	幼児クラス 会員2名
10月23日	羽川百踏会交流会	焼き芋パーティーを実施した	幼児クラス 会員1名
10月24日	海の子まつり予行練習見学	下浜小学校海の子祭りの予行を4、5歳児が見学させてもらった	4、5歳児 担当保育者
10月25日	焼き芋パーティ	畑で収穫したさつまいもで、焼き芋、芋ご飯にしてみんなで味わう	全園児
10月28 ～1日	保育参観週間	全クラスで実施 保護者に各クラスに入ってもらい、子どもたちの姿を見てもらったり保育体験をしてもらう	保護者
10月28日	サッカー教室	秋田県サッカー協会のコーチと共に体を動かしたり、サッカー競技を楽しむ	4、5歳児 コーチ1名
10月29日	保育参観週間 きりたんぼ作り	0～5歳児で実施 幼児クラスは各クラスに分かれてきりたんぼ作りを体験し、焼きたてのたんぼを味わう	保護者
10月30日	保育参観週間 きりたんぼ鍋パーティ	0～5歳児で実施 幼児クラスは各クラスに分かれてきりたんぼ鍋を作り、味わった	保護者
11月1日	内科健診	中通病院平山医師による健診を実施 また、保護者に健診結果を知らせ、治療が必要な場合は促していく 4歳児のキッズステップノートも保護者に協力してもらい実施	園児 中通病院 平山先生
11月2日	ふれあい秋まつり	1歳児から5歳児までの作品を羽川公民館に展示してもらった	松浦主任 堀井副主任
11月5日	サッカー教室	秋田県サッカー協会のコーチと共に体を動かしたり、サッカー競技を楽しむ	4、5歳児 コーチ1名
11月7日	幼年消防クラブ結団式 秋の防火パトロール	下浜消防分団の協力の下、実施。羽川地内をパトロールを実施した その後、消防団の指導の下、消火訓練を実施した	幼児クラス 下浜消防分団
11月8日	スギッコサッカー交流会	秋田市立体育館にて、他園とサッカーの試合を楽しむ	4、5歳児 引率4名 保護者
11月9日	虫の音コンサート	秋田吹奏楽団を招いてのコンサートを実施 (地域にポスター掲示、羽川地区の広報誌のコンサート情報のチラシを全戸配布してもらった)	秋田吹奏楽団30名 園児、保護者 地域の方
11月15日	不審者対応訓練	秋田警察所員の協力を得て不審者対応訓練を実施。「さすまた」の使い方の指導を受けた。	秋田警察署員2名 在勤保育者
11月19日	幼児スポーツ教室	5歳児が秋田市立体育館で、他園の子どもたちと一緒にトランポリン、的当て、大玉転がし等をして体を動かすことを楽しむ	5歳児 引率2名
11月21日	羽川百踏会交流会	子どもと一緒に戸外の玩具整理・点検をした	会員1名 幼児クラス
12月3日	交通安全教室	交通安全指導員の方から話を聞いたり、ゲームを楽しむ中で交通安全について知る	幼児クラス 指導員

12月10日	だいせん交流会	だいせん老人ホームの入居者の方を招き、15日に実施するおゆうぎ会の内容を見て頂く。握手をしたり、ハイタッチをしてふれあってすぞす	入居者9名、職員3名 全クラス
12月14日	おゆうぎ会	日頃、クラスで遊びこんだことをステージで発表した オープニングは5歳児の羽川剣ばやしから始まり、乳児クラス(各クラス毎)、幼児クラスは3、4歳児が合同で「どうぞのいす」、5歳児が「ももたろう」の劇に挑戦した エンディングでは歌や「ポンポンダンス」を披露 司会進行は5歳児が務めている 下中学生(5名)には、ステージの道具の出し入れや、幕の開閉を手伝ってもらっている(前日に打ち合わせを実施)	園児 保護者 来賓 理事
12月25日	クリスマスお楽しみ会	クリスマスの由来の話を聞いたり、絵本を見たり、歌をうたったり、サンタクロース(柴田理事)からプレゼントをもらって楽しむ	園児 柴田理事
12月27日	大掃除	職員と園児が保育所内の大掃除を実施した。	幼児クラス
1月6日	新年のつどい	新しい年を迎えたことをみんなでお祝いする。おやつとジュースで乾杯して楽しい時間を過ごした	全クラス
1月9日	世代間交流会 羽川百踏会との餅つき会	羽川百踏会の方を保育所に招いて、一緒に餅つき体験をさせてもらっている。その後、保育室で一緒に遊んでもらっている 場所をホールに移して園児による、はねかわ剣ばやし、歌、ダンスを披露した。できたての餅をみんなで味わっている	百踏会の方々 全園児
2月3日	豆まき会 (節分)	保護者に、子どもたちの心の中に住んでいる鬼を短冊に書いてもらっている。当日を迎えるまでに、鬼のお面や豆を入れるますを作って準備をする。当日は保育者が扮する鬼に、子どもたちが炒った豆をぶつけて鬼退治をしている	全園児
2月5日	テーブルマナーの会	ホテルメトロポリタンで、5歳児がテーブルマナーを学びながら食事をすることを楽しむ	5歳児 引率2名
2月12日	クラス懇談会 うさぎ組	保育者と共に1年を振り返り、成長を喜びあったり、意見交換を行う	保護者 9世帯中2世帯2人
2月13日	クラス懇談会 こあら組		保護者 5世帯中5世帯5人
2月13日	クラス懇談会 きりん組		保護者 13世帯中7世帯7人
2月14日	クラス懇談会 こうさぎ組		保護者 4世帯中4世帯4人
2月14日	クラス懇談会 とら組		保護者 8世帯中4世帯4人
2月14日	クラス懇談会 ぞう組		保護者 13世帯中13世帯
3月3日	世代間交流 (祖父母参観) ひなもち会	ひなもちを保育者と一緒に作り、ひな祭り会を楽しむ (新型コロナウイルスの全国的な流行のため、祖父母には参加を遠慮してもらった)	幼児クラス 保育者
3月14日	卒園式	卒園児が保護者と一緒に入場 卒園証書授与、卒園児は自分の名前、入学をする学校名、頑張りたいことを発表 保護者、保育者が卒園児を温かく送り出した。 (3月6日に秋田市に新型コロナウイルスの罹患者がでたという情報を受け、来賓、在園児には参加を遠慮してもらった。) 羽川剣ばやし、荒馬伝達式は行わずに短縮で式を実施した	卒園児13名 保護者 保育者 写真係～大友さん
3月16 ～19日	学校給食体験	下浜小学校から献立をいただき、5歳児クラスが小学校にあわせたメニューをつくってもらい食べる機会とした	5歳児

3月17日	交通安全教室	交通安全指導員の方から1年のまとめのDVDを見せてもらう。交通安全についての約束を確認しあう。修了証をもらっている また、5歳児は就学に向けて、通学の際には十分に注意をすることを話してもらっている	幼児クラス 指導員
3月26日	お別れパーティー	4、3歳児が企画。5歳児との別れを惜しみつつ、感謝と『おめでとう』『ありがとう』という気持ちを込めた会を実施した	幼児クラス
3月26日	羽川剣ばやし・荒馬 伝達式	卒園児が羽川剣ばやしを披露した後に所長に、バチと扇の返還 3歳児に、バチと扇の伝達 4歳児に荒馬の伝達	幼児クラス 保育者